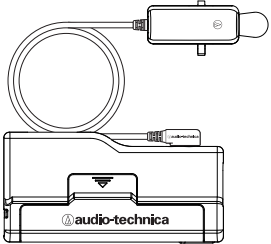


取扱説明書

赤外線 2 ピースマイクロホン **ATIR-T850**

audio-technica

お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。



- 持ち運びに便利な軽量＆コンパクトサイズ
- 隣接した部屋と混信しない赤外線伝送方式により、安定した運用を実現
- 送信チャンネルを簡単な操作で切り換え可能
- 高音質・高感度のコンデンサーマイクユニット搭載
- 使用する部屋の大きさに合わせて、赤外線出力を3段階(ECO/LO/HI)に切り換えられる省電力タイプ
※ECO時は約8.5時間連続使用可能
- 簡単に装着でき取り付け角度も調整可能なタイピンクリップ付きのラベリア型マイクロホン
- ベルトなどにクリップで装着できるトランスミッター

audio-technica

保証書

持込修理

型番

ATIR-T850

ご購入日

年 月 日

保証期間

ご購入日より 1 年

フリガナ
ご氏名

ご住所

〒 ()

転載不可

●裏の保証規定を必ずお読みください。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1
www.audio-technica.co.jp/proaudio/support/
Eメール：proaudio@audio-technica.co.jp

同梱品を確認する

本製品をご使用になる前に、下記同梱品がすべてそろっていることを確認してください。万一、同梱品に不足や損傷がある場合は、お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の各営業所までご連絡ください。

●トランスミッター(ATIR-T850)

●ミニドライバー

●マイクロホン(ATIR-M850)

●CH シール

●取扱説明書 - 保証書付き -(本書)

※トランスミッターには充電式電池が取り付けられています。

安全上の注意

⚠ 危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠ 警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠ 注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的障害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

⚠ 警告	●本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電、故障や火災の原因になります。 ●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない 感電や火災の原因になります。 ●異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気づいたら使用しない 異常に気づいたら、お買い上げの販売店か当社ホームページ記載の各営業所に修理を依頼してください。	●分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。 ●強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。 ●濡れた手で触れない 感電やけがの原因になります。 ●水をかけない 感電、故障や火災の原因になります。 ●布などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。
------	--	--

⚠ 注意

●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない 故障、不具合の原因になります。 ●火気に近づけない 変形、故障の原因になります。	●ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない 変形、故障の原因になります。
--	--

電池について	
指定電池	専用ニッケル水素電池(付属)または 単3形アルカリ乾電池(別売)

⚠ 危険

●電池の液が目に入ったときは目をこすらない すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。 ●電池の液が漏れたときは素手で液を触らない 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、ホームページ記載の各営業所までご相談ください。	・万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で十分にうがいをし、医師の診察を受けてください。 ・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
--	---

⚠ 警告

※1 は乾電池についてのみの内容です。

●火の中に入れない、加熱、分解、改造しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない 発熱、破損、発火の原因になります。 ●幼児の手の届く所に置かない 電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師の診察を受けてください。窒息や内臓への障害の恐れがあります。 ●電池は (+) (－) を逆に入れない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●長期間使用しない場合は電池を取り出す 液漏れによる故障の原因になります。	●硬貨やカギなど金属製のものと一緒の場所に置いたり、電池の (+) と (－) を接続しない ショート状態になり液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●新しい電池と一度使用した電池、銘柄や種類の違う電池を混ぜて使用しない*1 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●乾電池は充電しない*1 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●使い切った電池はすぐに取り出す 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
--	--

⚠ 注意

※1 は充電式電池、※2 は乾電池についてのみの内容です。

●落下させたり強い衝撃を与えない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●以下の場所で使用、放置、保管しない ・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所 ・炎天下の車内 ・ストーブなどの熱源の近く 液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。 ●水に濡らさない 発熱、破裂、発火の原因になります。 ●指定の充電器以外で充電しない*1 故障や火災の原因になります。 ●外装ラベルが剥がれた電池は使用しない、ラベルを剥がさない ショート状態になりやすく、液漏れ、発熱、破裂の原因になります。	●変形させたりハンダ付けしない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●保管、廃棄の場合は端子（金属部分）をテープなどで絶縁する 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●機器を使用したあとは必ずスイッチを切る 液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。 ●指定の電池以外使用しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。 ●使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する*2 環境保全に配慮してください。
--	---

■充電式電池のリサイクルについて
充電式電池はリサイクルできます。不要になった電池は、端子(金属部分)にテープなどを貼り付けて絶縁してから充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、社団法人電池工業会ホームページhttp://www.baij.or.jpをご覧ください。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 赤外線発光部は手で覆わないでください。
- 赤外線発光部を強く握ったり、ひねらないでください。故障の原因となります。
- 赤外線 の到達距離は壁や天井、床などの色や材質によって変化します。
- 携帯電話や PHS、デジタル回路内蔵機器などの影響を受けノイズが発生する可能性があります。その際は、影響がない位置まで離してください。
- 市販の単3形アルカリ乾電池を使用した場合、電池残量表示は正しく表示されません。
- 出荷時、充電式電池は充電されていません。
- 初めて充電するときや長時間使用していないときは、充電式電池の持続時間が短くなる場合があります。その際は、何回か充放電を繰り返すと通常の充電ができるようになります。
- 充電式電池を使い切らないうちに充電を繰り返すと、充電状態とは無関係に電池が消耗するメモリー効果と呼ばれる現象が起きます。電源インジケーターが消えるまで使い切ってから充電してください。それでも改善されない場合は、充電式電池の寿命の可能性があります。新しい充電式電池と交換してください。
- 充電式電池は充電を繰り返すと、電池の容量が減少してきます。使用時間が短くなってきたら、なるべく早く新しい電池と交換してください。
- 充電式電池にまれに白い粉のようなものが付着することがありますが、故障ではありません。乾いた布などでよく拭き取ってから再度ご使用ください。

各部の名称と機能

《トランスミッター》

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

①マイクロホン接続端子
付属のマイクロホンの接続端子を差し込みます。

②ベルトクリップ
ベルトなどに差し込みます。

③CHシール貼付位置
必要に応じて付属のCHシールを貼ります。

④電源インジケーター
電源を入れると電池の残量を表示します。緑点灯：使用可能です。赤点灯 / 無点灯：充電してください。※電源インジケーターの表示は目安です。※電源インジケーターが赤点灯の際は飛距離が短くなり、ノイズの混入や途切れが発生する場合があります。

⑤電源スイッチ
スライドさせ電源のON/OFFを行います。

⑥チャンネル切換スイッチ
使用するチャンネルを切り換えます。

⑦赤外線出力切換スイッチ
赤外線出力の設定変更を行います。

⑧バッテリーケース

⑨バッテリーカバー

⑩充電端子

《マイクロホン（付属）》

接続のしかた
トランスミッターのマイクロホン接続端子へプラグを差し込みます。

①マイクロホン部

②タイピンクリップ
マイクロホンの固定用クリップです。45°刻みで360°回転します。

③赤外線発光部

④マイク入力端子(φ3.5mmミニプラグ、プラグインパワー)
ヘッドウオンマイクを使用する際に差し込みます。プラグを差し込むと本製品のマイクロホン部が使用できなくなります。

⑤接続端子(φ3.5mmステレオミニプラグ+φ2.5mmモノラル超ミニL型プラグ)
トランスミッターのマイクロホン接続端子に接続します。コード長さは約1mです。

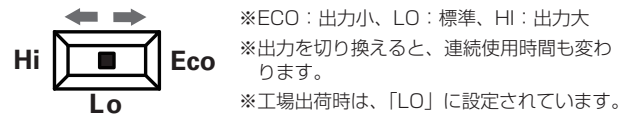
使いかた

接続する機器の取扱説明書も併せてお読みください。

- ①トランスミッターを充電します。
- ②付属のマイクロホンをトランスミッター本体の入力端子に接続します。
- ③マイクロホンのタイピンクリップで、胸部中央に取り付けます。
※マイクロホンの赤外線発光部が体と反対側に向くように取り付けてください。
- ④トランスミッターの電源を入れます。
※電源を入れて約1秒間は音が出ません。
- ⑤音が出ることを確認し、レシーバーで音量を調整します。

出力設定の切り換えかた

送信範囲の調整をする場合、バッテリーカバーを取り外し赤外線出力切換スイッチをスライドさせて設定を切り換えます。



■赤外線の見え方

		飛距離
出力	HI	約11m
	LO	約8m
	ECO	約5m

※マイクロホンを複数使用している際に、マイクロホンが受光ユニットに近づきすぎると雑音が発生する場合があります。その場合は、受信範囲の中で雑音がなくなるまでマイクロホンを離してください。

ATIR-A400

本製品

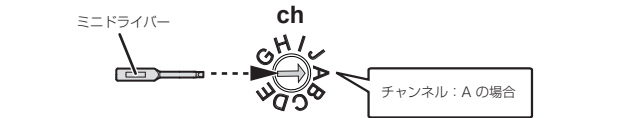
※受光ユニット ATIR-A400 を使用した際の正面方向の見え方です。

※飛距離は受光ユニットの設置位置や設定、室内の状況などにより変わります。

チャンネルの切り換えかた

電源をオフにしてからバッテリーカバーを取り外し、付属のミニドライバーでチャンネル切換スイッチを回してチャンネルを切り換えます。

※電源がオンの状態でチャンネルを切り換えると雑音の原因になります。



本製品は下記のチャンネルに対応しています。

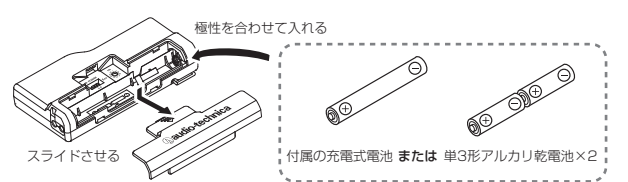
Ach	3.04MHz	Fch	2.48MHz
Bch	3.48MHz	Gch	2.70MHz
Cch	3.70MHz	Hch	2.82MHz
Dch	3.84MHz	Ich	2.56MHz
Ech	2.06MHz	Jch	3.20MHz

※工場出荷時は、「Ach」に設定されています。

電池の入れかた

本製品は市販の単3形アルカリ乾電池2個でも使用できます。
その場合、電池残量表示は正しく表示されません。
また、アルカリ乾電池は絶対に充電しないでください。

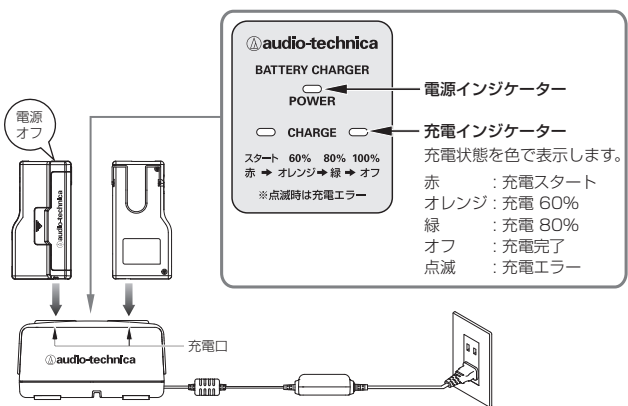
- ①電源をオフにします。
- ②バッテリーカバー天面の **audio-technica** ロゴ上部の を親指で押さえ、スライドさせてバッテリーカバーを取り外します。
- ③付属の充電式電池、または単3形アルカリ乾電池をバッテリーケース内の極性に合わせて入れます。



- ④バッテリーカバーを取り付けます。

充電のしかた

別売の当社充電器の取扱説明書も併せてお読みください。



- ①本製品の電源をオフにしてから、充電口へ差し込みます。
※本製品を差し込んで、充電インジケータが点滅する場合は、エラーの可能性があり。一度充電器の電源を切ってから使用してください。
※本製品の電源がオンの状態で充電口に差し込むと、自動的に本製品の電源がオフになり、充電が開始されます。（オートオフ機能）
- ②充電中は充電インジケータが充電状態に合わせて点灯します。（赤→オレンジ→緑）
- ③充電インジケータが消灯すれば、充電完了です。
※約5.5時間で充電完了します。
※本製品の充電式電池の寿命は正常な使用で約1年、または充電回数で約750回繰り返して使用できます。
※充電状態の表示は目安です。できる限り、満充電（充電インジケータが消灯）にしてから使用してください。
※充電式電池の消耗が少ないときは、自動的に短時間で充電完了します。

注意

●本製品の充電式電池は **ATIR-T880**、**ATIR-T850** 専用です。ほかの用途に使用しないでください。

●専用充電器以外では充電しないでください。

●所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。

●本製品の充電端子部が汚れていると満充電できないことがあります。充電端子部の汚れを落としてから充電してください。

赤外線マイクロホン互換表

下表を参考に、マイクロホンとレシーバーを組み合わせ使用してください。

マイクロホン	レシーバー	ATIR-T88	ATIR-T85	ATIR-T880	ATIR-T850
レシーバー	ATIR-R84	◎	◎	○	○
	ATIR-R82(E)	◎	◎	○	○
	ATIR-R82(G)	◎	◎	○	○
	ATIR-R840	○	○	◎	◎
	ATIR-R820	○	○	◎	◎

	ATIR-T85	ATIR-T850
ATIR-M85	◎	△
ATIR-M850	△	◎

付属のマイクロホンは左記互換性があります。

◎：推奨の組み合わせです。

△：互換性がありますが、音量が大きく変わるため音量調整が必要です。また、赤外線の飛距離が変わります。

故障かな？と思ったら

赤外線レシーバーや受光ユニットの取扱説明書も併せてお読みください。

症状	ご確認ください	対処方法
電源インジケータが点灯しない	電池が消耗していませんか？	→付属の充電式電池は、工場出荷時は充電されていません。充電して使用してください。
受信しない／音にノイズが乗る／音が途切れる	赤外線レシーバーの出力の切り換えは合っていますか？	→アルカリ乾電池を使用している場合は、新しい電池に交換してください。
	赤外線レシーバーや接続した機器のボリュームを小さくしすぎていませんか？	→接続した機器に合わせて、マイク／ラインの出力設定を切り換えてください。
	本製品と赤外線レシーバーのチャンネルの設定は合っていますか？	→ボリュームを調整してください。
	本製品と受光ユニットとの間に障害物はありませんか？	→障害物を取り除くか、受光ユニットを見通せる場所で使用してください。または、受光ユニットを増設してください。
電池がなくなる	本製品と受光ユニットとの距離が離れすぎていませんか？	→受信範囲内で使用してください。または、受光ユニットを増設してください。
	本製品を複数使用時、受光ユニットと距離が近づきすぎていませんか？	→雑音がなくなるまで、本製品を離してください。
	充電式電池がメモリー効果を起こしていませんか？	→一度使い切ってからまた充電してください。 ※改善されない場合は、充電式電池の寿命（約750回の充電が目安）が考えられます。新しい充電式電池と交換してください。
症状が良くならない場合は	お買い上げの販売店または当社ホームページ記載の各営業所までお問い合わせください。	

テクニカルデータ

型式	バックエレクトレットコンデンサー型
指向特性	単一指向性
赤外線波長	870±30nm
発振方式	PLLシンセサイザー方式
周波数特性	140～13,000Hz
変調方式	周波数変調
搬送波周波数	Ach(3.04MHz)、Bch(3.48MHz)、Cch(3.70MHz)、Dch(3.84MHz)、Ech(2.06MHz)、Fch(2.48MHz)、Gch(2.70MHz)、Hch(2.82MHz)、Ich(2.56MHz)、Jch(3.20MHz)
送信チャンネル	1チャンネル
電源	専用ニッケル水素電池RB3UTG（本体に取り付け済み）または単3形アルカリ乾電池×2
連続使用時間*	専用ニッケル水素電池使用時 約8.5時間(ECOモード時) 約7時間(LOモード時) 約4.5時間(HIモード時) 単3形アルカリ乾電池使用時 約7時間(ECOモード時) 約5.5時間(LOモード時) 約3時間(HIモード時)
外形寸法	H120×W60×D23mm（ベルトクリップ除く）
質量	約118g（専用ニッケル水素電池含む）
付属品	CHシール、ミニドライバー
《マイクロホン(ATIR-M850)》	
外形寸法	H88.5×W28×D23mm
ケーブル長	1.0m
接続端子	φ3.5mmステレオミニプラグ+φ2.5mmモノラル超ミニL型プラグ
質量	約48g（タイピンクリップ含む）

*使用条件により異なります

改良などのため予告なく変更することがあります。

製品保証および修理などにつきましてはお買い上げのお店、または当社ホームページ記載の各営業所までお問い合わせください。

株式会社オーディオテクニカ 142315590-01-03 ver.1 2017.02.17 www.audio-technica.co.jp/proaudio ver.3 2017.11.10

オーディオテクニカ製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。お買い上げの製品に万一異常が生じた場合は、この保証書の規定により保証期間内に限り無料で修理させていただきます。修理の際にはこの保証書をご提示願いますので大切に保存してください。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために、大切に保管ください。なお、保証期間経過後も責任をもって修理いたしますが、その際は有料となりますのでご了承ください。本製品の基本性能を維持するために必要な部品（補修用性能部品の）最低保有年限は製造打切後6年です。

保証規定（必ずお読みください）

保証期間中に取扱説明書に従った、正常なご使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。お買い上げのお店、当社営業所または当社ホームページのサポートまでご連絡ください。また、修理の際オーディオテクニカの判断で製品交換させていただくことがありますのでご了承ください。以下の場合は保証期間中でも修理実費をいただく場合があります。修理状況によっては修理できない場合があります。

転載不可

本製品の仕様、価格、およびその他の情報は、無断で転載、複製、または他の媒体に公開してはなりません。

修理品の送料
●保証の期間内、期間経過後を問わず、修理・検査のために製品を郵送、託送される場合は、お客様に送料をご負担いただきますのでご了承ください。製品は、輸送中の事故がないよう、元通りに梱包してお送りください。

修理品の保証
●修理後、同一箇所に同一の故障を生じた場合は、保証期間を超過しても修理完了日より3ヶ月以内に限り無料で修理いたします。

その他
①この保証書の記載内容によってお客様の法律上の権利が制限されるものではありません。
②この保証書は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
③本保証書は再発行いたしませんので、紛失なさらないよう大切に保管してください。